

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所（北地区）の原子炉施設〔HTTR（高温工学試験研究炉）〕の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請（1次ヘリウム循環機回転数制御装置の更新）に係るヒアリング（4）
2. 日時：令和6年2月16日（金）14時00分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
加藤上席安全審査官、伊藤主任安全審査官、篠田試験炉係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所 高温工学試験研究炉部 次長 他3名
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部
施設保安管理課 主査
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
資料：なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それでは定刻になりましたので、H、PCT圧雪購入に係るヒアリングということで本日始めたいと思います。
0:00:08	本日のヒアリングの趣旨といたしましては、審査等をこちらで進めていく中で幾つか確認したい事項であるとか、資料に補足いただけてん。
0:00:20	等が出てきて参りますので、それをCD-Rお伝えすると、そういう趣旨のヒアリングになっております。
0:00:26	では早速中身に入らせていただきます。
0:00:30	まずですね、同行者単なる事実確認としてお伺いしたい部分というのがありまして、こちらの申請今回の設工認申請の範囲というわけではないんですけども、交わる有賀のファクトを押さえないという趣旨でお伺いするものです。
0:00:47	まず一つ目ですが、ヘリウム循環器の設計仕様の中に、精度時間として10秒という値が使用によって、
0:00:58	つきまして、この事業団体についてその許可上での扱いというものを確認したいと思っています。
0:01:05	基本的な安全機能としてですね、授業でその循環行を制度停止させるというふうになっていますけど、この授業で、従来の制度です、停止させる機能というものをですね。
0:01:16	安全解析上期待している前提としている、過渡変化とあと設計基準事故。
0:01:22	イトウ対応の放射性物質を放出する恐れのある事項というのがどういうものはどれに該当するのかというものを知りたいと。
0:01:32	荻野土佐とですね、そういった事象において、精度時間これが10秒を経過して、10秒すべて困る或いは10秒超えても止まらなかったっていう、
0:01:42	なった場合にこういった事態が起きるのかというものを知りたいというふうに思っております。
0:01:49	ここ、今のが1点目なんですけれどもこちらについて何か確認というか、趣旨の確認等ありましたらお願いします。室のカトウですちょっとよろしいでしょうか。
0:02:00	どうぞ。今日伝えるのはですね、うちがこういうところをちょっとまだ確認が必要だよとか、申請書にこういう内容を入れて欲しいとかいうのを、
0:02:13	伝達する会議にしたいと思っております、回答も後日ヒアリングでもらうと。それで今の趣旨に関して、意図がわからないとか、そういうことがあったら、発言をお願いしたいと思っております、まず今、柴が言った
0:02:33	確認事項に対して不明な点ございますか。
0:02:40	HTTRヒラドですとかがございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	規制庁シノダ失礼しました。では続けて二つ目にも行きたいと思います。二つ目ですけれども、機能の中の一つに、
0:02:55	いわゆる回転通行高信号。
0:02:57	これをもってインバータ再度整理させるという機能がありましたが、
0:03:02	ちょっとですね、こちら、このインバータの停止機能というものを前提条件にしているかと、席順事項とある大量の放射性物質を放出する恐れのある事項が、
0:03:14	どれになるの、どの事象になるのかということも一緒に教えていただきたいということです。
0:03:24	シーズンまで承知しました。
0:03:29	では、副所長シノダですが続けて見、次の行きたいと思います。
0:03:35	ですね、鈴木委員は、前回の一次LM循環器、いわば周波数変換器あと回転数制御装置についてですね、中段については、いわゆる技術基準規則という 20、
0:03:51	一条で見ますと、安全設備と指定は整理をされてないのかというのを確認したいと思っています。以前のヒアリングの中でですね、確か。
0:04:03	第 11 条機能の確認等に関する説明の中で、目標 11 条 2 の対象にするのは、クラス 1 クラス 2 の機能を有する機器ですという説明をいただいたかと思っていますが、
0:04:16	この安全設備についても同じ整理をされているのかということで、その整備されている場合ですね、その整理というものについてこれまでの審査の指導の、
0:04:29	どこの審査の場でそういった説明をされていたかというものを教えていただきたいと思っています。
0:04:36	こちらについて何かご不明な点や趣旨の確認等ありますでしょうか。
0:04:44	北嶋戸松小幡温泉まで、後日ヒアリングで回答させていただきます。
0:04:52	北野カトウです 1 個補足しますと、確か私の記憶ですと STACY とかでもですね、安全設備や、クラス 1、クラス 2 に、
0:05:05	該当するものを安全設備にするっていう整理をしておってですね、それについては、新規制の分割申請のうちの第二段階かなんかで、きちんとそういう内容のものが明記されていると。
0:05:20	それで先ほど篠田の方から、どの審査で説明したのかっていうのはどの申請書で説明したのかっていうことを説明していただければよろしいかと思しますのでよろしく願いいたします。
0:05:34	対象としますと、
0:05:36	許可でいってないし、施設だから議事施設になっちゃうと、施設本来なるほど。
0:05:48	規制庁の篠田です。では続いてですけれども、次がですね、いわゆる許可の方のですね、添付。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:00	中の方拝見したところいわゆるカトウですね、カトウの解析の中で、一次系ゲーム循環器の回転数上昇という事象と、一次冷却材流量の増大という事象においてですね、その防止策としてその改善する方向によるインバーターの。
0:06:16	停止というものが、読めたんですけど、事象においてのそのインターロックでの停止というのは、この場合は循環器がその停止するまでっていうのは重要になるんじゃないでしょうか。
0:06:28	そういうところですか。或いは、単純に、制度停止とは違って、10秒という、
0:06:34	そういう制約は期待しないで他に提出すればいいというところの整理なのかということを確認したいと思います。
0:06:45	はい。承知しました。次回ヒアリングで整理させて回答させていただきます。
0:06:52	新沢加藤です。ここをちょっと1点補足しますが、今シノダは止めるっていうことを前提にしてるんじゃないかっていうふうな趣旨の説明もありましたが、
0:07:04	場合によってはですねインターロックのかかる、スカイ件数ですとキープするっていう感じで決まるんじゃないかなと思っておりまして、結局は
0:07:16	テンジウの過渡解析の前提条件。
0:07:19	になっていると思いますので、その時のその時は10秒で止まるのかずっとキープしているのか、そういうところを説明していただければ良い。
0:07:29	良いかと思しますのでよろしくお願いします。
0:07:33	はい、承知しました。
0:07:37	規制庁の志村です。続けてこちらはその許可の添付10の話になるんですけども、清藤野最初の方にですね、いわゆる循環器の制度停止特性というものをグラフで示して、
0:07:51	が示されていまして、そうですが10秒以内に、改善数がゼロになるというような図になってるんですけども、制度停止特性というのは9月の遮断機の切り換え、
0:08:02	古内深田電器制度による停止を示されているということでもいいのかということを確認したいと思います。加えてですね、インバーターの停止、インバーターの停止信号。
0:08:14	によって止まるという場合は、大体どれくらいの時間で止まるのかということもあわせて確認したいと思います。
0:08:26	低いそうしますと、
0:08:32	規制庁の篠田です。ではですね単なる事実確認として確認したいというところは以上になりまして、続けていただき、
0:08:42	今回の審査機関が申請に関していただいている、パワーポイントの資料ですね、こちらについて幾つか。
0:08:49	お伝えしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:54	まずですね、直近でいただいている2月1日の版のパワーポイントの資料ですと、まずスライド6ページ目ですね、こちらに周波数変換器の機能ということで、まず
0:09:08	ずれ関野、どういった機能があるかというものをご説明いただいております。
0:09:14	普通書いてある機能ですね、同じスライドの11ページにありますこの使用前事業者検査で確認する項目と、
0:09:25	いうところの繋がりが所掌、わかりづらいかと思っております。
0:09:35	でこれがまずどういうふうに、修正というか、記載を、
0:09:42	検討していただきたいことを言うんですね。
0:09:45	それから、11ページの方の項目の方から見ますと、こちら注釈でですね、遮断器、
0:09:52	伊澤の動作信号については体験制御装置から発信されるものではないため、対象外とするというふうに記載されて、これを単純に今回の設工認で、
0:10:04	このような工事の範囲外なのでということなんだと思います。で、また以降のところですね、遮断機の増産に付随するインバー散水指導者についてはと。
0:10:14	ありますけれども、これについてはですね、いわゆるその規制対応というものではなくて、地震による設備だという説明も前回いただいておりますのでそういう熱田。
0:10:26	今確認を行いますという趣旨なのだと理解しております。
0:10:32	最後ですね、6ページの図で言うとそれが所々読み取りづらいかと思っておりまして、
0:10:41	ここで言うと、安全保護回路から出ている遮断機側への指令と、飲酒解決制御装置側への指令とか、同じ。
0:10:51	いっぺんというか、で表現されていますけれども、これが、例えばその規制対応として、
0:10:58	そして今設けてる信号と自主で設けてる信号という形でこう分けて記載するような形ですとか。
0:11:05	示していただくと、そのの、
0:11:09	ユニケーションというか、見るべきものではないか見るべきものというわけではないというのがわかるかなと思ってまして、
0:11:19	そうですね。
0:11:23	これは、1例というか、
0:11:26	例えば次にこういうふうに提案なんですけど、例えばその安全を変えるから出てるものを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:33	遮断機が肉親ゴトウインバータに信号を分けてですね、その上で、規制対応として設けてる、回路なり信号っていうのを、実線で表して自主でやってるものを点線で表すみたいな表記をして、
0:11:47	なんか点線は実収によるものみたいなことを書いていただくと。
0:11:52	これ、これは自主なんだなというのがわかって、それを、それを受ければ 11 ページでの注釈の、言わんとするところでわかるのかなと。
0:12:03	いうふうに思いますけども、合わせてですね、この注釈の部分もやはりこの最初のポイントまた以降の部分は二つに分けていただいて、
0:12:12	障害だから、
0:12:13	項目には含めませんっていうものと、
0:12:16	自主なので、
0:12:18	含めません自主なりの確認をしますという、
0:12:21	分けて書いていただくと。
0:12:24	まず、この原発の目標の繋がりがわかりやすくなるかなというふうに思いますので、そういった形。
0:12:32	記載を少し見直していただきたいなというふうに思っております。
0:12:40	今まで何か確認というか、意図の確認等ありました。
0:12:47	一条兵頭です。イトウについて話をしました。議事録等 P6 と 11 番、特に注釈のようにですね、この部分が本税の方で、非常にわかりにくいということで、
0:13:01	ここを明確化させて、自主、あと規制対応、どういったどちらの。
0:13:09	対応になるのかっていうのを、この図面の明確になって、かつ、その大城市との記載と整合がとれるようにですね、対応させていただきます。
0:13:20	ぜひ規制庁の将来性よろしく願います。
0:13:24	続いてですが、
0:13:27	このスライドで言う P-10。
0:13:32	18 ですね、18 にあります第 54 条の原子力利益原子炉冷却材圧力バウンダリ農場分に係る御説明のところ。
0:13:43	についてなんですけれども。
0:13:46	こちらについてですね、条文との対応という観点で申し上げますと、やはりこの 54 条について求められているのはバウンダリを構成する機器。
0:13:57	が不可に家に変えるものではなければならないということで、
0:14:01	なのでというのを踏まえまして適合性の説明においてもですね、この 54 条の第 1 項に適合する設計となっているの、手法というのは、バウンダリ構成する基金。
0:14:14	にさせていただくとその条文との対応がわかりやすくなるかなと思っておりまして、そういう観点で言いますと、ここの説明にですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:25	最後の部分ですね、従って以降の部分、こちらの表現が少しそこが見づらいかなと思っておりまして、
0:14:35	具体的に言いますと、この従って以降の0原子炉冷却材圧力バウンダリの移行のところ、温度上昇による原子炉冷却材圧力バウンダリ。
0:14:47	方向性する機器への影響はないことからとありますけれども、ここはですね、いわゆるそのバウンダリの方向性成否の57条への適合性の説明という意味では、
0:14:59	今回の更新においては結局、構成機器に加わる最大、
0:15:04	の負荷というのが変わらないのだという、ということになるかと思えます。
0:15:11	なのでここはバウンダリを構成する機器への影響はないというよりは、バウンダリを構成する機器に加わる最大の負荷に、
0:15:20	は影響がないというふうに説明いただいた方が、趣旨としては、適合性という意味ではわかりやすくなるかなと思っておりますのでちょっとそのた方針での記載の見直しを検討いただきたいと思っております。
0:15:35	下、規制庁の加藤です。ちょっと補足いたしますと、おそらくですね言ってることは、内容的には変わらないんですけど、大内ラガー審査書を書く上で
0:15:51	やはりバウンダリを、ここから54条の主語っていうのがですね求められている主語っていうのが、原子力原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器となっておりますので、
0:16:05	ここに対して、ここについてはどうなってるかっていう内容を書きたいと、その時に、今回っていうのは、こういう機能を持たせているので、
0:16:18	災害負荷っていうものに対して影響を与えないものなんですよっていうことを書きたいので、今言ったような趣旨の書き方に変更できませんかっていうところです。
0:16:33	新規アドレス、庄子増田了解します。
0:16:45	規制庁の篠田です。それではですね、いただいてパワポの資料の方については以上になりまして、決議は言われた、おそらくが準備されているであろう申請の補正についてになります。
0:17:00	ここまでいったところで補正申請書本体にも関わるようなところはそれも一緒に、
0:17:08	反映というか、取り込んでいただきたいなと思っているんですけど、それに付け加えてですね、いくつか今、補正をする際に留意いただきたい事項というものがあります。まずですね。
0:17:23	今回のこの設工認の申請ですけども、いわゆるその許可の整合の部分で、
0:17:29	どの、いつ時点でその処分があった、許可、
0:17:33	仁木水井紐づいて今基づいているのか。
0:17:37	というものを記載いただきたいと思っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:41	具体的に言いますとの許可整合に係る添付というものがありますのでそこに書いていただくのがいいかなと思うんですけども、これがシンプルに書けるものであればですね、対照表の許可、
0:17:55	というところに、位置付けの強化っていうのを加えていただければいいかなと思いますし、そこにちょっと納めるのが難しいであるとか、いくつかバージョンアップみたいなものがあって、
0:18:08	一口で書ききれないという場合にはお手紙というか、1枚目のところにですね、許可との整合性について説明するという。
0:18:18	山崎のところ、各号機等で居続け、いつも許可っていうものを記載いただくというふうにしていただければいいかなと思っています。
0:18:33	こちらについてはいかがでしょう。何かご不明な点はありますでしょうか。敷いてあるやつは、土木だつてはございません。はい。
0:18:45	規制庁の主務ですとでは続いてまいりますけれども、その許可の整合の中で、いわゆる許可の品質管理計画、
0:18:54	今回の品質マネジメントの整合というものを、
0:18:58	ご説明いただいている箇所がありますけれども、
0:19:02	その
0:19:03	その表の、
0:19:06	一番最初の部分ですね、この中に、いわゆる整合性、5表で許可申請書等、設工認の計画申請書等ですね、整合性っていうふうに記載いただいている表の、
0:19:21	一番最初のところにですね、いわゆるその原子炉設置期限、
0:19:26	期限後許可申請書、
0:19:28	に記載した品質管理計画を受け、この原子力施設の保安のために、の業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則に適合するように策定した。
0:19:40	大前金球場原子炉施設と品質マネージメント計画書により、設計及び工事の品質管理を行うため、整合しているというふうにご説明いただいている部分がありまして、エコチラーの、
0:19:52	この写真、品質管理計画を受けという表現について少し、
0:19:58	ですね、その品質管理計画と、その中にあるマネジメント計画の関係がちょっと不明瞭かなと思っています。
0:20:07	こちらに関して言うと、恐らくはその、
0:20:11	管理計画に何かマネジメント計画を定め、定めるみたいなことが書いてあって、それに基づいて作ったっていうふうにも読めるかなと思っていて、
0:20:21	実際のところで施策中身が整合していますっていうことをおっしゃられたんだと思うので、なので、そうですね。OKという表現。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:31	もう少し見直いただいて、その記載している時、記載事項、中身が一致するように作りましたという趣旨がわかるような、日本語の表現を少し検討いただきたいなと思っております。
0:20:45	少し長くなりましたけど5社出資等伝わっ。
0:20:49	何かご不明な点あれば、
0:20:54	空いてるものでございます。
0:20:56	兄弟に府営を違う表現で説明すればいいというふうに理解をしました。はい。
0:21:02	規制庁の正田です。趣旨では申し上げましたので、そうですね内容が一致しているというニュアンスが伝わるような表現を少し考えていただければと思います。
0:21:16	規制庁の庄田です。補正についての須磨堀いただきたい事項というものは以上になります。次、最後にいわゆる作成いただいているそのまとめ資料。
0:21:29	についてですね、5000切りいただきたい点がありまして、今回いただけるパワーポイントの資料ですとか或いはこれまでのヒアリングでのやりとり。
0:21:40	等をまとめ資料に、
0:21:42	ふうという形でまとめていただくのかなと思っておりますが、その中でですね、今回
0:21:49	いわゆる改定する制御装置の更新ということで、形式、記載の適正化ということで形式を落とされてますけれども、実際の工事として形式の変更を行われるということで、その形式の変更にこういったメリット、
0:22:04	目的等があって行われたのかということも、記載をいただくようにお願いしたいと思えます。確かヒアリングでは、スイッチ加速度が、
0:22:17	が上昇するであるとか、食堂電流が小さいといった、そういった利点があるというふうにいただいたと思うので、これは、
0:22:25	これはしっかり残るように記載をいただきたいと思えます。
0:22:33	こちらについては趣旨の確認等ございますか。
0:22:49	承知いたしました。まとめ資料の方には、このパワーポイントの方のPDFファイルのいろんな他の型式の利点とかを記載してますので、
0:23:01	それについては反映させたいと思えます。
0:23:06	規制庁の正田です。よろしく申し上げます。
0:23:12	本日お伝えしようと思っている事項については以上になります。
0:23:21	そうですねこちら、今日お伝えしたことを次に留意して資料の修正であるとか、補正の準備等を進めていただければと思います。
0:23:32	それについてはですねまた修正いただいたものを、次回のヒアリングで直示いただければというふうに思っていますが、
0:23:40	そうですね。
0:23:43	ここから作業を進めたとして、スケジュールの見通しという意味で言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:48	まず資料、
0:23:51	もし、
0:23:53	の修正っていうものと、あと補正になるんですけどまず、資料の方はこれ一修正等はどれぐらい時間かかりそうでしょうか。
0:24:05	HTTR平戸です。
0:24:07	すみません確認させていただきたいんですけども、先ほど言われたまとめ資料と言われているものは、このパワーポイントの資料ではなくて、
0:24:20	また別に何か作成する必要がある資料があるということでしょうか。はい。芦沢加藤です。どうぞ。まとめ資料大体はこのヒアリングの資料、ここ、
0:24:33	今回の試験を受けてさらにリバイスされると思いますが、これでOKです。ですが砂丘とですね。
0:24:41	仕事から事実確認っていうふうに伝えさせていただきました。例えば申請範囲外のですね、循環器の精度時間 10 秒。
0:24:53	1-1 とか、そういうものもあると思います。それらも踏まえてそれらも含めてですねこのヒアリング資料に加えるのであれば、これ、意識がまとめ資料っていう形になると思います。
0:25:06	実はちょっとどうかのは私議会が何ていうんですか、申請範囲外のことが、このパワーポHTTRの設工認一次ヘリウム循環器カードを更新って書かれている資料に入ってくる。
0:25:20	ちょっとおかしいんじゃないかなあと感じておまして、事実確認のものは一つ、ペーパーを起こす、そしてそのペーパーとこのヒアリング資料を合わせてまとめ資料になるんじゃないかなと思いますがいかがでしょうか。
0:25:36	HTTRヒラドです。理解しました。確かにそうですね。継続制度の話ですわ。そういった話っていうのは、ここでは対象外というふうに私も認識しておりますので、安井はまた別途資料を立ち上げて、
0:25:53	事実確認の資料としてこのパワポとあわせて、まとめ資料として出させていただきます。
0:25:59	はい。
0:26:08	あと資料の修正に関しては、
0:26:13	事故、
0:26:17	1 週間、5 日間ですね、ちょっと見ていただければ幸いです。
0:26:24	規制庁の正田です。承知しました。では資料の修正。
0:26:29	今示していただく、次回のヒアリングについてもおよそ 1 週間後をめぐり、また次させていただきますと思います。はい。
0:26:39	規制庁加藤です。ちょっとその点確認をさせてもらっていいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	ちょっと全員さんどのようなプランです。もうとしているのかっていうことなんですけれど、資料の修正から5日間ぐらいということなので、早いと来週木曜日3日金曜日が休みなので、木曜日か。
0:27:02	その次の週の2、6日月曜日になると思っていますと、それぞれヒアリングを、25日に資料が届いたとして、27から28ぐらいにヒアリングを仮にやるとします。
0:27:15	そうしたバーい、今は、本申請の補正って2月下旬というふうに言っていたと思うんですね。
0:27:26	その他何ですか、ヒアリングが終わってから、その補正に関する、JALの中の決裁を回すのか、見込みで申し立て、予定通り2月下旬に補正を出すのか、どちらになります。
0:27:43	千田沖野でございます。
0:27:45	新井現在の記者主査は厳しくなってますので、
0:27:52	そこそれをご理解いただいて、補正になると思っていますので2月下旬の補正は把握できないというふうに考えます。わかりました。2月下旬ヒアリングでも、この内容でいいでしょうっていうのが固まり次第決済をまわし、
0:28:06	早くて3月上旬から中旬かかっちゃうかもしれないけれど、そこぐらいで補正が出てくるっていう理解でよろしいですか。
0:28:15	いった意味でございます。
0:28:18	3月ちだったと。
0:28:24	調整してわかりませんが、HI自体もちょっと予定が入っていますので、非常に悪く問題もありますので、ちょっと調整させていただきたいと思います。わかりました。
0:28:35	了解です。
0:28:42	規制庁の正田です。それではですね、時間ヒアリングはおよそ来週が再来週ですね、再来週の前半ぐらいになるだろうと。
0:28:52	いう見込みで、はい。また調整させていただければと思います。補正の方はそれ以降の準備ということで3月中旬、或いはもう少しかかるかという事ではこちらも準備をしたいと。
0:29:06	準備をしておきたいと思います。
0:29:09	本日規制庁からお伝えしようと、確認処分を持つてる事項については以上になりますけれども、ここは何かですね、JAEAの方から何か伝達事項等ありましたら、お願いします。
0:29:24	HTTRはございません。
0:29:32	規制庁の庄野です。東京事務所の方はいかがでしょう。
0:29:38	はい。江藤局長が、特にございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:41	規制庁の庄野です。それではですね、それを、これにて本日のヒアリングは、終了といたした、したいと思います。ありがとうございました。
0:29:52	ありがとうございました。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。